

芸森便り

術の 小 り

HP はこちらから



学校だより
令和8年9月
特別号



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果より

6年生を対象に実施した標記調査の本校の結果と今後の取組について全家庭にお知らせいたします。なお、本調査で把握できるのは、学力全般の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることをご理解ください。また、この文書は、本校ホームページにも掲載しています。

【国 語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
【学習指導要領の領域等】 <u>□「情報の扱い方に関する事項」</u> ・全国平均に比べ、上回っている。 <u>□「話すこと・聞くこと」</u> ・全国平均に比べ、下回っている。	○考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができる。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。 ○全体を通して、無回答率が低い。	☆伝わりにくく説明が必要な場合は、どのような資料がよいか考えたり、相手や目的を意識して資料を提示しながら表現を工夫したりできる場を設ける。

【算 数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

<u>□「図形」</u> ・全国平均に比べ、上回っている。 <u>□「測定・変化と関係」</u> ・全国平均に比べ、上回っている。	○直方体の箱の形を構成する面について理解している。 ○体積の意味について理解している。 ○百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。 ○単位量当たりを求める除法の式の意味を理解している。 ○基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。 ○全体を通して、無回答率が低い。	☆各領域で全国平均を上回っていたが、少数の以下の正答率が低かった。 式 6.37-5 式 5-3.76 小数の加法及び減法の計算は 637-500、500-376 のように、整数と同じ原理、手順でできることを指導していく。
--	--	--

成果○ 課題● として記述しています。

★全国に比べて、正答率が下回っている問題

国 語		算 数
○ 1 ー	○ 2 三ア	○ 1 (1)
○ 1 二 (1)	○ 2 四	○ 3 (2)
○ 1 二 (2)	○ 2 四	○ 4 (3)
○ 1 二 (3)	○ 3 三 (1)	

※調査問題や解答例に関しましては、国立教育政策研究所のホームページ

[国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research](http://www.nier.go.jp/)をご覧ください。

【質問紙調査】

★全国に比べ、肯定的に回答した割合が高い質問項目

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- ・PC・タブレットなどのICT機器を学習で活用することができていますか
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- ・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

【傾向】

- 「課題解決に自分から取り組む」「分かった点・分からない点を見直す」「実生活に結びつける」など、主体的に学ぶことができる。
- ICT機器をただ使うだけでなく、「情報の収集・整理・発表」などの学習目的のためにツールとして使うことができています
- 自分の考えに固執せず、他者の意見を取り入れて自分の考えを再構築することができる
- 「将来の夢や目標がある」「地域や社会をよくしたい」など、自己効力感をもっている。
- 学習意欲が高く、それを支える環境(家庭・学校)が安定している。

★全国に比べ、肯定的に回答した割合が低い項目

- ・学校の授業時間以外に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- ・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか
- ・新聞をどれくらい読んでいますか

【傾向と分析】

- 授業時間以外の勉強時間が全国に比べて短い。学習塾や家庭教師なども活用していない家庭が多い現状がある。
- スマートフォン等でSNSや動画視聴をする時間が多い。
- 読書はするが、家庭にある本の冊数は全国に比べて少ない。
- 新聞を読むことが少ない。